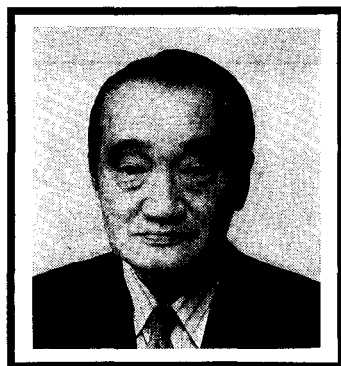


故横山勝義 元会長を偲んで



会長 森村 英典

横山勝義元会長が亡くなったというお知らせを聞いて、しばし呆然といたしました。後で何うと半年ほど闘病生活を送っておられたとのことですが、私はそれまで全くそのことを存じ上げていなかったため、横山勝義元会長とご病気とはどうしても結びつかず、ましてや御逝去とは考えられもしなかったからです。私の存じ上げている横山さんはいつも、活動的な横山さんでした。まだまだ何十年も御活躍いただけるものとばかり思っておりました。

私にとっても、日本オペレーションズ・リサーチ学会にとっても、横山さんは単に元会長・名誉会員という以上の重みを持っていたと思います。特に、新米の会長としては、何か事が起ったとき、親身になってご相談に乗っていただけそうな先輩の一人と考えていただけに、頼れる方に亡くなられた不運を感じました。

横山元会長は、昭和34年、創立3年目の本学会に、はじめての独自の事務所と職員とをお世話してくださって以来、多年にわたって、評議員、理事、副会長、会長、あるいは各種の委員として、骨身を惜しまずご尽力くださいましたが、その間、本学会とオペレーションズ・リサーチに注がれました横山氏の愛情を、同氏に接したすべての会員がひしひしと感じていると申して過言ではないと存じます。あの、いかにも頼り甲斐のある大きなお体の同氏が「よし、その件は引受けた」とおっしゃって下さったときの安堵感を、いま、私はしみじみと思い出しております。

横山さんは日本国有鉄道の審議室長、支社長、常務理事、そして川崎重工業の常務取締役といった要職を歴任されながら、その傍らで、学会の細々とした雑事にまで実に行届いたご配慮をしつづけて下さいました。昭和34年には、大学以外で初めての研究発表会を国鉄で開いたり、同39年、北海道支社長時代には、北海道支部の設立と北海道での最初の発表会開催とを実現したりと凡人には真似のできない成果を次々に上げて下さいました。

昭和50年の国際オペレーションズ・リサーチ学会連合国際会議でのご活躍、会長ご在任中の創立25周年記念の諸事業に注がれたご情熱等、横山元会長が本学会に残されたご業績は、枚挙にいとまがないほどですが、特にAPORS設立に関してのご努力は、私共にとって忘れ得ないものです。会長ご在任の間、国際理事をはじめとする関係者を通じて、ア

ジア・太平洋地域のOR学会の連合を作るために、各国の関係者と忍耐強く接触を続けられましたが、任期を終えて会長を退かれるときには、設立の会合を開くために多額の私財をご寄付くださいました。その基金で、APORS設立の理事会を日本で開いてその発足にこぎつけ、オーストラリア、中国、香港、インド、日本、韓国、ニュージーランド、シンガポールの各国OR学会、すなわち、この地域内にあるすべての各国OR学会を糾合いたしました。爾来同連合は着実にその活動を進め、今月には第1回の国際会議が韓国で開催されるまでに成長いたしました。私は、横山元会長にご自身でソウルにゆかれ、その会議の成功をご自分の目で見ただきたかった、と返す返すも残念に思えてなりません。

横山元会長は、会長職は退かれても、名誉会員として現役のOR学会員でした。会長時代にご提唱になりました「実学への回帰」という視点が、今後のOR活動の大切な視点であることは私共の長期計画にも謳われております。この活動のよきアドバイザーとしてのご活躍をひそかに期待していたのですが、その願望はいまや空しくなりました。私共は横山元会長のご遺志を継いで、本学会およびオペレーションズ・リサーチの発展のために、今後一層の努力をいたしますことをお誓いして追悼の言葉に代えたいと思います。

故横山勝義氏略歴

本 籍	東京都目黒区青葉台 2-266
住 所	千葉県我孫子市天王台 3-25-19
生年月日	大正 5 年 2 月 11 日
昭和13年 3 月	東京帝国大学工学部機械工学科 卒業
昭和13年 4 月	鉄道省入省
昭和31年 3 月	日本国有鉄道 広島工場長
昭和37年 7 月	日本国有鉄道 審議室長
昭和39年 2 月	日本国有鉄道 常務理事、北海道支社長
昭和42年 2 月	汽車製造株式会社 常務取締役
昭和44年 11 月	汽車製造株式会社 専務取締役
昭和47年 5 月	川崎重工業株式会社 常務取締役
昭和52年 4 月	(社)海外鉄道技術協力協会 理事長
昭和52年 4 月	(社)日本機械学会 副会長
昭和56年 5 月	株式会社交通機械設備設計事務所 会長
昭和56年 6 月	株式会社レールウエー・システム・リサーチ 会長
昭和59年 5 月	交通機械協会 会長

なお、昭和34年10月 日本生産性本部“OR STUDY TEAM”に参加渡米
昭和36年 9 月 欧州出張

〔当学会関係〕

評 議 員	昭和34年以降56年まで
理 事	昭和34年、35年、38年、39年、40年
副 会 長	昭和41年・42年、47年・48年、52年・53年
会 長	昭和57年・58年
名 誉 会 員	昭和60年推挙

昭和63年 6 月 7 日 18 時 10 分 逝去 小脳出血